

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2024年4月～2025年3月

発行：2025年7月4日

歯車研削盤 TGG-26-2W

特長



1.高精度・安定生産

2.歯車研削盤専用NC

TOYO

トヨーエイテック株式会社

西日本営業所



目次

項目	頁
取組の対象組織・活動	2
トヨタエテック(株)西日本営業所 環境経営システム組織図	3
トヨタエテック(株) (全社) 組織図	4
トヨタエテック(株) (全社) 沿革	5
環境経営方針	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営活動の取組み計画と評価	8
環境関連法規制の順守状況	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	8
エネルギー使用量の実績推移 (参考)	9

取組の対象組織・活動

□組織概要

(1) 名称及び代表者名

トーヨーエイトック株式会社
代表取締役社長 早野祐一

(2) 所在地 及び EMS取得状況

- ①本社 〒734-8501 広島県広島市南区宇品東5丁目3番38号
ISO14001認証取得、ISO/TS13485:2003認証取得、IATF16949認証取得
- ②東日本工場・東日本営業所(北関東) 〒366-0801 埼玉県深谷市上野台1450番地27
EA21認証 0002863 2008年9月1日取得、ISO/TS13485:2003認証取得
- ③東日本営業所(東京) 〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目6番2号
EA21認証 0004660 2010年2月26日取得
- ④中部日本工場・中部日本営業所 〒480-0304 愛知県春日井市神屋町字引沢41番地1
EA21認証 0002635 2008年7月1日取得、Nadcap認証取得
- ⑤西日本営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3
EA21認証 0004126 2009年9月4日取得
- ⑥上海駐在事務所 上海市長寧区仙霞路317号 遠東国際広場B棟403号室

(3) 事業内容

- ①工作機械事業……研削盤、スクロール加工機、ハードカッティングセンタ、製造・販売。
②表面処理事業……ハードコーティング受託加工(CVD・PVD・複合処理・PPD処理)
歯切工具、精密金型他、一貫加工。
③自動車部品事業……AT・CVT用オイルポンプ、製造・販売。

(4) 事業規模

資本金:30億円 売上高:303億円 従業員総数:666人 (2025年3月現在)

事業所	本社	西日本営業所	中部日本工場	東日本営業所	東日本工場
事業内容	営業・製造・開発	営業・サービス	営業・サービス・製造	営業・サービス	営業・製造
従業員数	499人	12人	42人	9人	19人

(5) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象事業所概要

(EA21認証 0004126 2009年9月4日取得)

(1) 事業所名及び代表者名

トーヨーエイトック株式会社 西日本営業所
所長 浅井和之

(2) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

工機営業サービス部西日本営業所 中塔奈津子(責任者) TEL:06-6337-6222
" 原 大樹(担当者)

(3) 所在地

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

工作機械営業・メンテナンスサービス、表面処理受託・工具・金型営業

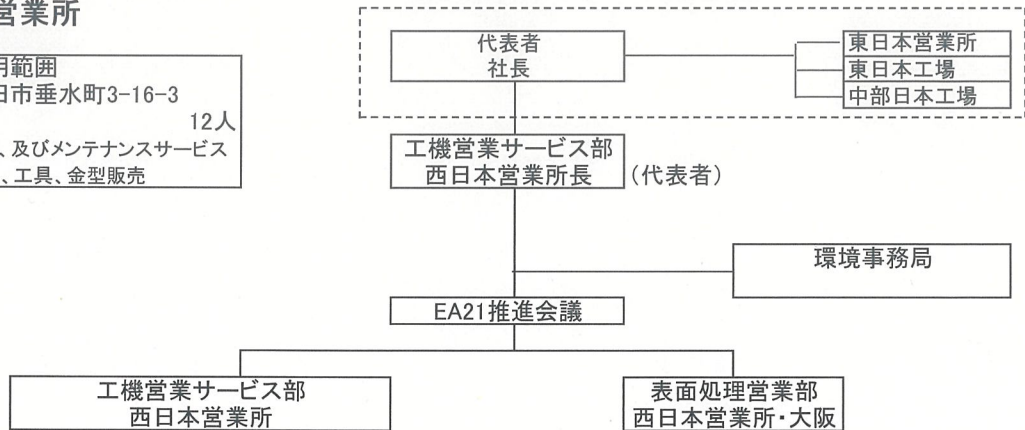
(5) 西日本営業所 大阪 の事業の規模

売上高 15.0億円 (2025年3月現在)
従業員 12名
延べ床面積 217.95㎡

トーヨーエイトック株式会社
西日本営業所

認証・登録の適用範囲
住所:大阪府吹田市垂水町3-16-3
12人
活動:工作機械販売、及びメンテナンスサービス
表面処理加工、工具、金型販売

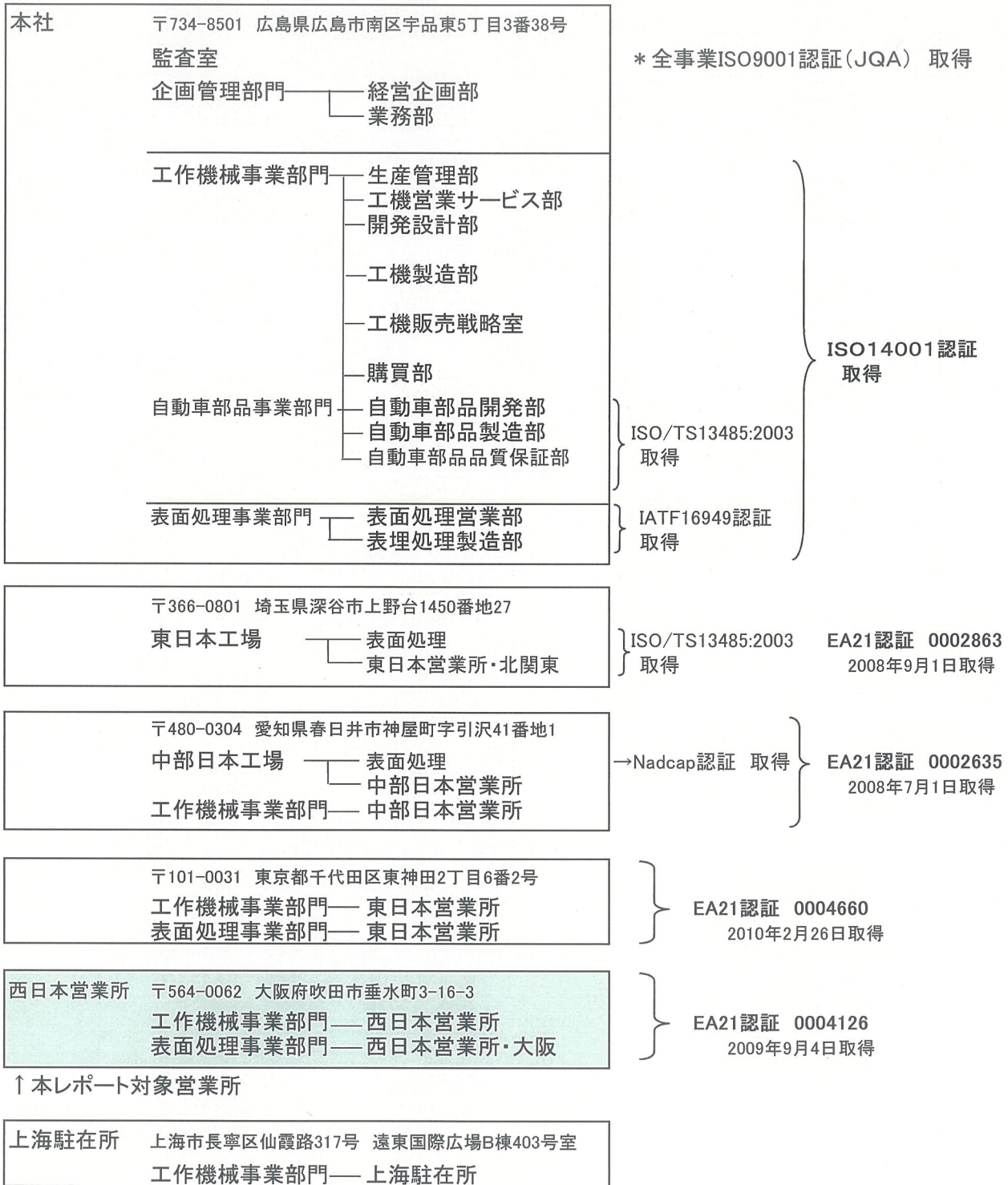
環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
工機営業サービス部 西日本営業所所長 (代表者)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者の準備。 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 環境経営目標・環境経営計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境経営レポートの経営承認。
EA21推進会議	<ul style="list-style-type: none"> 営業所環境経営システムの実施確認。 営業所内における環境経営方針の通知。 営業所員に対する教育訓練の計画策定。 環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 代表者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 環境経営計画の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
工機営業サービス部 表面処理営業部	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境経営方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
営業所員 全員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□ トーヨーエイトック株式会社組織図



沿革

1929年	社内(東洋工業)用として、研削盤を製造
1940年	内面研削盤を製造
1950年	汎栄機械(株) (販売代理店) 設立
1953年	工作機械の本格的な製造開始
1956年	新型自動精密内面研削盤を製造開始
1968年	TiCコーティングに関し、Metall Gesellschaft AG社と技術契約締結
1981年	トーヨータイシー(株) (現 中部日本工場) 設立
1985年	自動車部品事業を開始
1986年	東京ハードコート(株) (現 東日本工場) 設立
1989年	マツダ(株)より分社独立、トーヨーエイトック(株) 発足
1990年	半導体用スライシングマシンを開発
1996年	トーヨータイシー(株)、東京ハードコート(株) と合併
1997年	トーコーハン(株) と合併、製販一体化
1999年	ISO9001 認証取得(工作機事業)
2000年	創立50周年 ISO14001 認証取得 (本社及び、広島工場)
2002年	CVT用オイルポンプを開発 ISO9001 認証取得 (全事業)
2005年	オイルポンプ(自動車部品)生産累計1,000万台達成 ISO/TS 16949 認証取得 (自動車部品事業)
2006年	内面研削盤生産累計10,000台達成
2007年	ISO13485 : 2003 認証取得。(本社及び東日本工場)
2008年	Nadcap 認証取得 (中部日本工場) PVD 炉を開発
2009年	ダイヤモンドワイヤーカッティングマシンを開発
2012年	東広島工場竣工 歯車研削盤を開発
2013年	タイにオイルポンプ生産の現地法人設立 冠動脈用ステント医療機器製造業許可を取得
2014年	オイルポンプ生産累計2,000万台達成 コンパクト・ハードカッティングセンターを開発
2015年	耐熱膜TR-Flatを開発
2017年	地域未来牽引企業に認定
2020年	創立70周年
2021年	DLC膜Arc-DLCを開発
2022年	健康経営優良法人2022(大規模法人部門)に認定
2023年	工作機械生産累計20,000台達成 オイルポンプ生産累計3,000万台達成 中国上海市に現地法人設立
2024年	高耐久PVD膜 低温TiC-Xを開発

環境経営方針(トヨーエイトック株式会社)

当社は、「存在感のある企業として発展しつづけることを目指す。」という経営理念のもと、これからの最重要課題の一つとして、以下の3点に注力すべく環境指針を定め、全従業員へ周知徹底し、当サイト全体で積極的に地球問題環境への対応に取り組めます。

- (1) 環境法規制などを遵守すると共に、事業活動による環境への影響を評価して、環境保全レベルの継続的な改善に努めます。
- (2) 廃棄物量の低減、エネルギー使用の抑制を推進し、環境負荷の軽減に努めます。
- (3) 事業活動に関わる一人ひとりの環境意識を高め、各業務部門ごとの自主管理による環境保全活動を推進します。

基本方針

資源・エネルギーを大切にし、
社会や地域と調和した、
クリーンな事業活動を目指します。

<西日本営業所 環境指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

① 二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)

- ・電力(電灯,エアコン)
- ・自動車燃料(営業車)



② 廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)

- ・一般廃棄物(可燃ごみ)
- ・両面印刷を主とし、且つ廃紙の裏面再利用(可燃ごみ)



③ 社会貢献

- ・省エネ型製品の開発提案・販売促進



制定日:2008年12月1日

改定日:2018年8月21日

トヨーエイトック株式会社 西日本営業所
所長 浅井 和之

・主な環境負荷の実績

項目	単位	85期	86期	87期	88期	89期	89期	90期
		2018年度 (旧基準値)	2019年度 実績値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2022年度 新基準値	2023年度 実績値
電力の削減 排出係数(備考1) CO2	kWh	21,227	30,590	27,488	17,644	19,719	19,719	17,536
	kg-CO2/kWh	0.334	0.334	0.334	0.334	0.334	0.434	0.434
	kg-CO2 (基準年比)	7,090	10,217	9,181	5,893	6,586	8,558	7,611
ガソリンの削減	L	9,058				6,350	6,350	4,889
	kg-CO2 (基準年比)	21,030				14,743	14,743	11,351
	L	0				4,586	4,586	5,275
軽油の削減	kg-CO2 (基準年比)	0				12,035	12,035	13,843
	kg-CO2	21,030	22,763	17,640	23,048	26,778	26,778	25,194
車燃料CO2排出量	kg-CO2	21,030	22,763	17,640	23,048	26,778	26,778	25,194
総CO2排出量 (対象:エネルギー総量)	kg-CO2 (基準年比)	28,120	32,980	26,821	28,941	33,364	35,336	32,805
産業廃棄物排出量	kg		150		1			
一般廃棄物排出量	kg	255	1,527	324	261	284	284	240
総排水量	m ³	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可	測定不可
売上高	百万円	1,957	2,224	1,175	1,104	1,340	1,340	1,603
	(基準年比)	-	114%	60%	56%	68%	68%	120%
総CO2/売上高 (原単位)	kg-CO2/売上高	14	15	23	26	25	26	20
	(基準年比)	-	103%	159%	182%	173%	184%	78%

備考1・・・電力のCO2排出係数は、2018年度～2022年度まで関西電力調整後排出係数0.334kg-CO2/kWhを使用」

・環境経営目標及びその実績

項目	年度	89期	91期	91期	評価	92期	93期
		2022年度 【基準値】	2024年度 【目標】	2024年度 【実績】		2025年度 【目標】	2026年度 【目標】
電力の削減 (排出係数:0.434)注1 (二酸化炭素排出量)	kWh	19,719	19,325	17,209		19,127	18,930
	kg-CO2/kWh	0.434	0.434	0.434		0.434	0.434
	Kg-CO2 (基準年比)	8,558	8,387	7,469	○	8,301	8,216
			98%	87%		97%	96%
ガソリンの削減	L	6,350		4,963		6,160	6,096
	Kg-CO2 (基準年比)	14,743		11,522		14,300	14,153
	L	4,586		4,955		4,448	4,403
軽油の削減	Kg-CO2 (基準年比)	12,035		13,004		11,674	11,554
	Kg-CO2	26,778	26,242	24,526	○	25,974	25,707
車燃料CO2排出量	(基準年比)		98%	92%		97%	96%
	Kg-CO2	35,336	34,629	31,995	○	34,276	33,922
二酸化炭素排出量合計	(基準年比)		98%	91%		97%	96%
	kg	284	278	243	○	275	273
一般廃棄物の削減	(基準年比)		98%	86%		97%	96%
	m ³ (基準年比)	測定不可 (共同利用)		測定不可 (共同利用)			
水道水の削減	円	2018年度より除外		-			
グリーン購入 注2	台/年	14	7	6	×	7	-
省エネ油圧ユニットの拡張 注3	百万円	1,342		1,503			
売上高	kg-CO2/売上高 基準年比	26.3		21.3		26	25.3
総CO2/売上高 (原単位)		-	98%	81%		97%	96%

注1・・・二酸化炭素排出係数は2022年関西電力調整後排出係数(0.434kg-CO2/kWh)を使用。

注2・・・2018年度よりグリーン購入の項目を除外する

注3・・・過去の実績値の変動が大きい為、期初に目標を設定する。

・環境経営活動の取り組み計画と評価

基準値は、89期（2022年度）とし、2024年度実績を評価する

取り組み計画	達成状況		単位 基準値比	評価 (結果と次年度の取組み)
電力の削減 ①不要照明の消灯 ②エアコンの温度管理	基準値	8,558	(Kg-CO ₂)	◆目標達成 基準年度の目標値に対し、目標達成出来た。 ◆次年度の取組み 夏・冬の空調使用期間でも換気の為、窓の開放を引き続き実施。こまめな温度調整を心掛ける。
	目標	8,387	98.0%	
	実績	7,469	87.3%	
自動車燃料の削減 (ガソリンと軽油) ①エコドライブ 運動展開 ②アイドリングストップ ③急加減速なし	基準値	26,778	(Kg-CO ₂)	◆目標達成 基準年度の目標値に対し、目標達成できた。 ◆次年度の取組み アイドリングストップのこまめな活用とエコドライブ運転の啓蒙。
	目標	26,242	98.0%	
	実績	24,526	91.6%	
一般廃棄物の削減 ①裏紙使用 ②ミスコピー防止	基準値	284	(kg)	◆目標達成 基準年度の目標値に対し、目標達成できた。 ◆次年度の取組み PDF推奨・裏紙再利用等で、紙消費削減を推奨していく。
	目標	278	97.9%	
	実績	243	85.6%	
環境配慮型製品の販売 ①省エネタイプ・油圧レスタイプの研削盤を拡販する	基準値 注1	14	台	◆目標未達成 期初販売計画に基づき活動。客先都合で1台延期になったが、概ね計画維持。 ◆次年度の取組み 2025年期初に目標設定する 早めのアクションを心掛ける。
	目標	7	50.0%	
	実績	6	42.9%	

注1…過去の実績値の変動が大きい為、期初に目標を設定する

・環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	順守評価
大阪府環境条例第41条～	自動車排出ガス対策推進	○
家電リサイクル法	該当廃棄品無し	○
廃棄物処理法	産業廃棄物・一般廃棄物の適正処理	○

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

・「代表者による全体の評価と見直し・指示」

目標達成できたのは、常日頃、所員の心掛けが反映されたものと感謝する。
景気は昨年引き続き各社取引先の投資計画中止、延期等の低迷が続いており、92期売上が厳しいことは見えている。
EV関係、生産合理化の提案による引合獲得とその具体化による受注獲得に注力続けたい。

[変更の必要性の有無・指示事項]

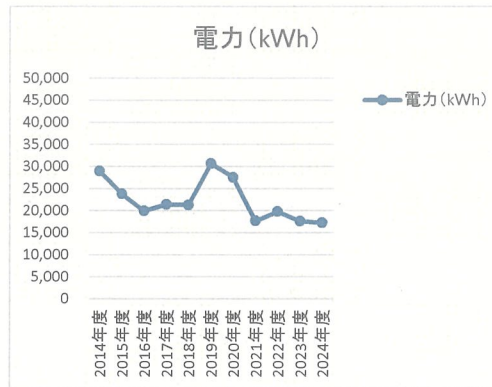
- 「環境経営方針 変更なし 変更あり」
「環境経営目標・計画 変更なし 変更あり」※1
「実施体制 変更なし 変更あり」

※1 環境配慮型製品の販売台数は変動が大きい為、期初に適切な目標を設定する。

・エネルギー使用量の実績推移 (参考)

・2014年度以降の電力使用量(kWh)の推移(参考)

	電力(kWh)
2014年度	28,905
2015年度	23,740
2016年度	19,872
2017年度	21,320
2018年度	21,227
2019年度	30,590
2020年度	27,488
2021年度	17,644
2022年度	19,719
2023年度	17,536
2024年度	17,209



・2014年度以降の自動車燃料(L)の推移(参考)

	ガソリン(L)	軽油(L)	合計(L)
2014年度	12,059		12,059
2015年度	11,155		11,155
2016年度	10,497		10,497
2017年度	9,932		9,932
2018年度	9,058		9,058
2019年度	7,360	2,163	9,523
2020年度	9,356	2,868	12,224
2021年度	6,587	2,955	9,542
2022年度	6,350	4,586	10,936
2023年度	4,888	5,274	10,162
2024年度	4,964	4,955	9,919

